

栗駒山&焼石岳山行報告

【山行日】2024年10月5～6日(土日)

【集 合】栃木市運動公園P AM 4:00

【費 用】マイカー2台 : 25,000円

【メンバー】CL:鈴木ユ SL:大西

飯野、植竹、大塚、嶋田、鈴木ミ、関、
廣瀬ナ、福島、渡邊ト

10月5日(土) 曇り後晴れ いわかがみ平
から東栗駒コースを登って栗駒山山頂に登り、
中央コースを下っていわかがみ平へ下山し、
焼石岳登山口近くの「ひめかゆ温泉」に宿泊す
る。



岩舟支所 P4:00=いこいの村 P7:45/8:00=いわかがみ平 8:10/8:20～東栗駒山 10:05/10:15～栗駒山 11:10/11:30～栗駒レストハウス 12:50/13:30=いこいの村 P13:40/13:50=ひめかゆ温泉 14:45

日本一とも言われる栗駒山の紅葉を見たいとリクエストがあり、紅葉の時期を狙って計画した。



当初は2日目に高松岳に登る計画だったが、奥山旅館の予約が取れず焼石岳に変更した。栃木市運動公園を4:00に出発し、東北道を北に向かってひたすら走る。安達太良SAでトイレ休憩を取り、さらに東北道を北上して若柳金成ICを出て県道4号線を進む。さらに国道457号線から県道42号線を進み、いこいの村の広い駐車場に車を止める。一般車はここまでしか通行できず、ここからは観光保護協力金500円を納めてシャトルバスで往復する。出発の準備を整えトイレを済ませたらシャトルバスに乗り、山道を10分程ゆられ登山口のいわかがみ平に着く。バスを降りたらストレッチを行い、案内標識に従い東栗駒コースの登山道に入る。溝状にえぐれた登山道を登って行き、ぬかるみや岩の段差、木の根などが連続しとても歩きにくい。今日のメンバーは苦手な人が多く、超スローペースで登って行く。後から登ってくるパーティーにどんどん追い越されるが、早くは歩けないので道を譲る。紅葉が遅れていてまだ緑が多いが、時折色づいたカエデを見つけるとウワ～綺麗と歓声上がる。ようやく明るくナメ状の清流が続く新湯沢に出て、沢の中を100mほど進んで渡渉し対岸に渡る。笹の道を緩やかに登ると、ハイマツの砂礫帯の登りに変わる。

レを済ませたらシャトルバスに乗り、山道を10分程ゆられ登山口のいわかがみ平に着く。バスを降りたらストレッチを行い、案内標識に従い東栗駒コースの登山道に入る。溝状にえぐれた登山道を登って行き、ぬかるみや岩の段差、木の根などが連続しとても歩きにくい。今日のメンバーは苦手な人が多く、超スローペースで登って行く。後から登ってくるパーティーにどんどん追い越されるが、早くは歩けないので道を譲る。紅葉が遅れていてまだ緑が多いが、時折色づいたカエデを見つけるとウワ～綺麗と歓声上がる。ようやく明るくナメ状の清流が続く新湯沢に出て、沢の中を100mほど進んで渡渉し対岸に渡る。笹の道を緩やかに登ると、ハイマツの砂礫帯の登りに変わる。



大きな岩の間を登り、さらにハイマツの道を登ると岩の上に東栗駒山の標識がある山頂に着く。



小休止して記念写真を撮り、ナシや菓子をいただきエネルギーを補給する。ガスツいて展望はいまいちだったが、うっすらとミネカエデの紅葉が見え、「綺麗」と皆さんは喜んでいました。この先は平坦なハイマツ帯の道になり、しばらく登ると裏掛コースへの道を右に分る。草紅葉が美しい栗駒草原を過ぎると傾斜が増し、木の階段状の道を登ると中央コースからの道と合流する。中央コースからの登山者が多く、この先の山頂への急登は、下りの登山者も多く大混雑である。急坂を頑張って登ると山頂に

着き、山頂も大勢の登山者で賑わっていた。山頂標識の前で記念写真を撮るが、順番待ちで列をなしていた。しばらく待って記念写真を撮り、山頂西側の平らな場所に移動して休憩する。レモンブッセやゼリーをいただき、足を休めたら下山開始する。下山は往路を少し下り、分岐から中央コースに向かって下って行く。中央コースを下って行くと明るくなり、ガスも晴れてきて錦織の栗駒山が望めるようになった。まだまだ最盛期の紅葉には程遠いが、それでも初めて見る皆さんには素晴らしい紅葉である。紅葉を楽しみながらゆっくり下り、皆さん展望ポイントでは絶景をスマホに



収めていた。やがて石を敷き詰めた広い道を下るようになり、左にカーブして下るとレストハウスに着く。レストハウスの裏側でランチタイムとし、お湯を沸かしてカップ麺やスープを作る。

ランチが済んだらトイレを済ませ、シャトルバスに乗っていこいの村に着く。

靴を履き替えたら車に乗り換え、今宵の宿「ひめかゆ温泉」に向かう。往路を戻ってナビ任せで走り、ナビが近道を案内して予定より早く宿に着いた。チェックインの時間前に着き、15時まで待た

されて無事チェックインする。4部屋に分かれて案内され、部屋で落ち着いたら温泉に入って汗を流す。4時から反省会が始まり、ビールで乾杯してから今日の栗駒山や、明日の焼石岳の話で盛り上がる。6時から夕食をいただき、明日の焼石岳登山に備え早めに床に就いた。

10月6日(日) 雨後晴れ 焼石岳に中沼登山口から登る計画だったが雨の為登頂を断念し、松島の瑞巖寺を観光して石巻げんき市場で昼食と買い物し、栃木市運動公園へ帰着する。

ひめかゆ温泉 6:00＝中沼登山口P6:30/6:50＝瑞巖寺 9:50/10:50＝石巻げんき市場 11:30/12:50
＝那須高原 SA15:55/16:10＝岩舟支所 P17:00

昨夜の天気予報では曇りで雨マークは無かったが、3:30分に起きると雨音が聞こえていた。



それでも出発までには止むだろうと、朝食のおにぎり弁当をいただく。出発の準備をして4:50に車に行くが、雨が強く降っているため宿にいったん戻る。皆さんに出発を1時間遅らせて、6:00に出ますと伝え部屋で待機する。雨は止まなかったが、これ以上遅れると下山が遅くなるので、宿を6:00に出発した。国道397号線に出て、胆沢ダムの手前から尿前林道を走り中沼登山口駐車場に着く。相変わらず雨が降っていて、トイレの建屋で様子を見ていたが止みそうにない。皆さんと協議の結果、

雨の中登るのは危険と判断し登山を中止した。代わりに何処か観光となり、松島の瑞巖寺を観光することにした。車に乗って尿前林道を戻り、ナビ任せで平泉前沢ICへ向かった。東北道に入って長者原SAでトイレ休憩し、お土産をゲットしてから山行の為に用意したリンゴやグレープフルーツをいただいた。ここから東北道を南下して、大和ICで降りて県道9号線を走り瑞巖寺入口のパーキングに車を止める。ここから歩いて参道を進み、総門をくぐって受付で拝観券を購入する。まずはすぐ前の法身窟を見学する。大きな岩窟に格子戸が嵌められ、中には多くの供養塔が建てられている。



中門をくぐると中庭があり、臥龍の梅が目を引く。庫裏から靴を脱いで進み、国宝の本殿を見学する。入母屋造りの本瓦葺きで、10の部屋に分かれている。各部屋には使用目的に沿って描かれた絵画や彫刻で装飾されており見事である。見学を終えたらいったん外に出て、向かい側にある宝物館



を見学する。宝物館には国指定重要文化財3点と、宮城県指定文化財が数多く展示され見応えがある。見学を終えると雨が降ってきて、しばらく様子を見るが止まないため速足で車に戻る。雨が降ってなければ松島海岸を散策する予定だったが、雨が止まないため車に乗って石巻げんき市場に向かった。時間が有るので高速に乗らず、国道45号線を走って石巻市に向かった。石巻げんき市場の駐車場に車を止め、まずは混まないうちにとげんき市場のレストランへ行く。各自好きな物をオーダーし、美味しいと満足

そうに食べていた。ランチが済んだら市場に移動してショッピングを開始する。

皆さん好きな物をゲットしていたが、我輩はサンマの丸干しとアジの干物をゲットした。お土産をゲットしたら駐車場に戻り、車に乗って帰路につく。帰路は石巻河南ICから三陸道に入り、仙台南部道路を経由して東北道へ入る。途中、那須高原SAに寄ってトイレ休憩し、その後も順調に走り予定より早く栃木市運動公園へ帰着した。